



## 「路上寝込み事故」に注意！

### 路上寝込みは危険！

- 夏場は、暑気払いや同窓会等、飲食店で飲酒する機会が多くなります。
- 例年、お酒を飲みすぎた方が、路上で寝込んだ状態で車にひかれる「路上寝込み事故」が発生しています。
- 道路で、寝そべったり座り込んだりすると大変危険です。自身の酒量を把握し、自分の足で帰ることが難しいと感じたときは、家族等の迎えを呼んだり、タクシーで帰りましょう。



#### 【道路交通法第76条第4項第2号】

道路において、交通の妨害となるような方法で寝そべり、すわり、しゃがみ、または立ち止まってはならない。

### ドライバーの方へ～路上寝込み事故を避けるために～

- 過去の事故の特徴をみると、路上寝込み事故は、夜間の繁華街や住宅街で多く発生しています。
- ドライバーの方は、特にこれらの場所では、「酔って寝ている人がいるかもしれない」と注意し、速度は控えめにしましょう。
- ハイビームは、より早く遠くの状況を見通すことができます。ハイビームを有効に活用して、路上寝込み等の道路上の危険をいち早く発見し、路上寝込み事故を避けましょう！

